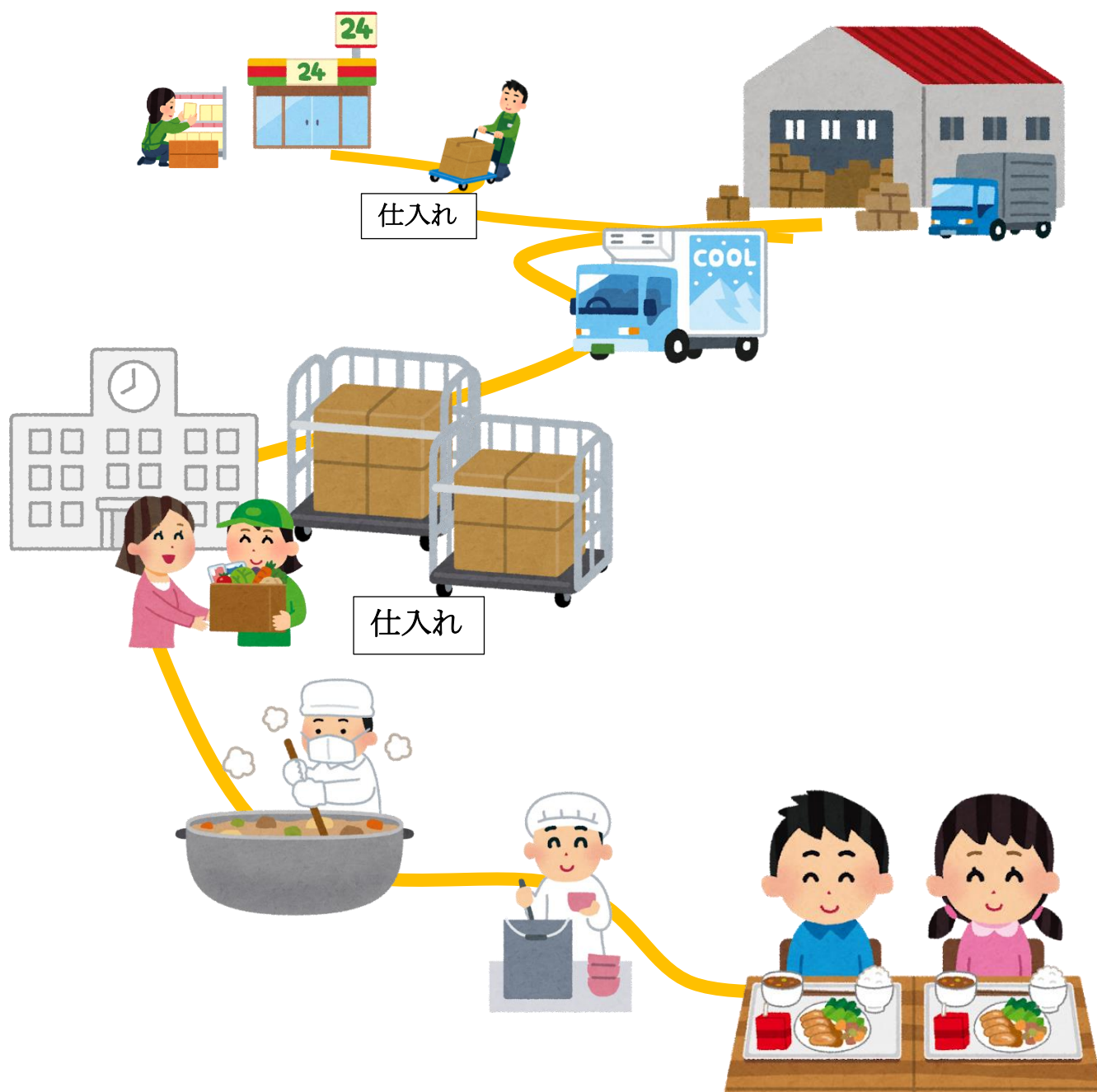


めあて

単元で学習した概数の考えを生かし、全校のみんなの給食を作るために仕入れている材料の量を求めてよう。

発展課題 2

私たちは毎日のように給食を食べています。栄養教諭の先生や給食調理員さんがみんなの体のことを考えて一生懸命作ってくれています。全校のみんなの給食を作るためには大量の食材を毎日仕入れる必要があります（コンビニやスーパーなどのお店も、お客さんが来る人数を考えてお肉や野菜の仕入れをしています）。〇〇小学校では、大のおかず、小のおかずなど、それぞれどれぐらいの食材を仕入れているのでしょうか。また、全校でどれぐらいの量が食べ残しされているのでしょうか。計算でだいたい量を求めてみましょう。



学習の手順（例）

- ① 食器（大の^{うつわ}器と小の^{うつわ}器）に水を入れてそれぞれ重さを量る（「一人分の量」）（提出物）
- ② 「全校の人数」を求める（全校児童〇〇人 先生〇〇人）（提出物）
- ③ 全校分の大のおかずと小のおかすの「食材の仕入れ量」を求める（提出物）
 ※ 1, 2 どちらも計算する
 1. 「一人分の量」や「全校の人数」を先にかい数にしてから大のおかず、小のおかすのそれぞれの「食材の仕入れ量」を求める。
 2. 大のおかず、小のおかず それぞれの全校分の「食材の仕入れ量」を求めてから、答えをかい数にする。
- ④ “大のおかず”と“小のおかず”を合わせた「合計の仕入れ量（kg）」を求める
- ⑤ 友だちとどのように考えたのか説明し合う

超発展課題（やってみたい人だけ）

- 1 クラスのおおよその食べ残される量を考え、全校で1日どれぐらい食べ残しがあるのかを求めてみる

学習の条件など

- ・ 計算は自分で行う。
- ・ 四捨五入する“位”（十の位、百の位など）は、自分で決めてよい。

提出①

- ・ 器に水を入れて重さを量った写真
- ・ 全校の人数を求めた式と答え
- ・ 学習の手順③の1と2の計算式と答え
- ・ 学習の手順④の計算式と答え

提出②（やった人だけ）

- ・ 1クラスのおおよその食べ残される量を自分で考えたもの（例：500g）
- ・ 全校で1日どれぐらい食べ残しがあるのか求めた計算式と答え

※ノートにかいたものを写真にとって提出。

もしくは、

自分なりにわかりやすくまとめて提出。